

児湯地域の普及活動(普及活動月報)

令和8年7月

児湯農業改良普及センター

目次

I 管内農業・農村の主な動き

(P 2)

- 1) 令和8年度みやざき農業実践塾の入塾式が開催【高鍋等】
- 2) 令和8年度九州・沖縄地区青年農業者会議 鹿児島大会で川南町SAP会員が九州農政局長賞を受賞【川南町】
- 3) 令和8年度JAみやざき児湯地区本部新規就農セレモニーが開催【高鍋町、新富町、木城町】
- 4) 児湯管内で早期水稻の収穫が開始【全域】

II 主な普及指導活動等の取組

1 地域プランに基づく普及活動

(P 3～4)

- 1) 児湯地区農業者研修のパワーアップ研修を実施【全域】
- 2) 施設ピーマン労働力確保の仕組みづくりに向けた意見交換会の開催【西都市】
- 3) さといも品種「大和39」の展示ほを設置
- 4) 畑かんを活用した散水実演(サトイモ・ショウガ)を開始しました【西都市・新富町】
- 5) JAみやざき西都地区本部茶部会、一番茶・二番茶実績検討会及び三番茶販売対策会議【西都市】
- 6) 青ゆず出荷開始【西米良村】

2 地域課題一覧に関する普及活動

(P 5～6)

- 1) 早期水稻採種ほ場審査を実施【西都市】
- 2) 尾鈴地区本部いちご青年部勉強会に参加【川南町・都農町】
- 3) 尾鈴地区本部いちご部会総会に参加【川南町・都農町】
- 4) 尾鈴地区本部ミニトマト部会総会・生産販売反省検討会に参加【川南町・都農町】
- 5) 尾鈴地区本部ハウス胡瓜部会総会に参加【川南町・都農町】
- 6) 令和7年度JAみやざき児湯施設園芸部会総会に参加【高鍋町・新富町・木城町】

III 参考

(P 6)

7月の気象(宮崎气象台:西都市)

I 管内農業・農村の主な動き

1) 令和8年度みやざき農業実践塾の入塾式が開催【高鍋等】

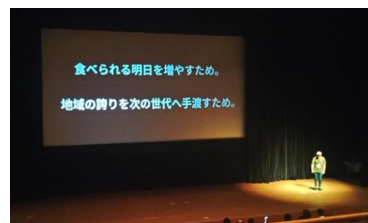
1日に令和8年度みやざき農業実践塾の入塾式が開催され、6名の研修生が入塾しました。児湯地域からは4名が入塾し、今後1年間栽培技術や経営管理の基礎知識について研修する予定です。

円滑な就農ができるよう、関係機関とともに支援をしていきます。

2) 令和8年度九州・沖縄地区青年農業者会議 鹿児島大会で川南町SAP会員が九州農政局長賞を受賞【川南町】

8日、9日に「九州・沖縄地区青年農業者会議」が鹿児島県で開催されました。プロジェクト発表の部（5種類のテーマ、23課題）および、意見発表の部（8課題）において九州各県から青年農業者が集い発表が行われました。

川南町SAP会員1名が意見発表の部に宮崎県代表として発表をし、1位の九州農政局長賞を受賞しました。3月に開催される全国大会に九州代表として出場します。



【意見発表の様子】

3) 令和8年度JAみやざき児湯地区本部新規就農セレモニーが開催【高鍋町、新富町、木城町】

21日に児湯地区本部管内の新規就農セレモニーが開催されました。今年度の新規就農者は5名です。JA職員や関係機関、さらに令和4年度以降に就農した仲間に見守られながら、決意表明を行いました。

来賓からは、「資材高騰等経営も苦しい中、就農してくれてありがとう！これから一緒に頑張りましょう」と激励の言葉もありました。

これから普及センターも彼らが一人前の経営者になるよう、伴走支援していきます。



【セレモニーの様子】

4) 児湯管内で早期水稻の収穫が開始【全域】

18日頃から西都市でコシヒカリの収穫が始まって、各地区収穫開始をしております。初検査が西都地区で22日、児湯地区で24日、尾鈴地区で27日より開始しております。

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組

1 地域プランに基づく普及活動

1) 児湯地区農業者研修のパワーアップ研修を実施【全域】

13日、22日、29日に労働力確保研修（全3回）を実施しました。

第1回はウラカタパートナーの田尻洋一氏を講師に招き、「収穫時のアルバイト・パートの採用方法」について御講演いただきました。第2回は農業経営指導士の株式会社イニファーム 橋口仁一氏を講師に招き、自社の雇用管理について、経験談を交えながら御講演いただきました。第3回は、マッチングアプリ企業によるアプリの仕組み等について説明がありました。

また、17日に第1回畜産基礎研修が開催されました。今後、第6回まで開催する予定です。

これから年内にかけて、研修会を順次開催していきます。

農業総合研修センターで実施しているリカレント研修のオンライン受講も8月まで普及センターで行っています。



【第2回研修の様子】

2) 施設ピーマン労働力確保の仕組みづくりに向けた意見交換会の開催【西都市】

27日、施設ピーマンの労働力確保の仕組みづくりに向けた意見交換会が開催されました。地域ぐるみの労働力確保体制の構築に向け、生産者と関係機関が、労働力確保の現状や問題点、今後の対策について意見を交わしました。

今後も生産者と意見交換を行い、人材確保に向けた取り組みを検討していきます。

3) さといも品種「大和39」の展示ほを設置

県畑作園芸支場が選抜したさといもの新系統「大和39」について、地域適応性を確認するための展示ほを設置し、既存品種との収量性を比較するとともに、植付深度や肥培管理など、新系統に適した栽培技術の確立を図ることとしております。

引き続き、さといもの産地復活を目指し、関係機関と一体的に取組を進めてまいります。



【調査の様子】

4) 畑かんを活用した散水実演(サトイモ・ショウガ)を開始しました【西都市・新富町】

今年は梅雨明け以降、降雨が非常に少ない状況となっています。

管内の畑かん整備地区では、散水を行うことにより計画的な作付けが可能となるため、普及センターではさといも（西都市）、ショウガ（新富町）において、畑かんPR用の散水実演ほ場を設置し、畑かん営農の推進を行っています。

気象庁の3ヶ月予報では、今後の降水量はやや少ない見込みとなっており、畑かん施設の有効活用を引き続き呼びかけていきます。



【「さといも」での散水風景
（ほ場奥で散水中）】

5) JAみやざき西都地区本部茶部会、一番茶・二番茶実績検討会及び三番茶販売対策会議【西都市】

16日に西都地区本部茶部会員の生産者、関係機関が集まり、一番茶・二番茶の実績と三番茶に向けた対策会議が行われました。

西都地区本部からは、一番茶・二番茶の概況や三番茶の見通しの話がありました。

児湯普及センターからは、害虫発生状況や防除対策について資料を用いて説明しました。

6) 青ゆず出荷開始【西米良村】

30日から青ゆずの青果の出荷が始まりました。

初日は2名の生産者が合計約65kgの青果を出荷しました。大きいものでは3Lもあり、生産者自ら丁寧にパック詰めした綺麗な青ゆずが出荷されていました。

8月下旬からは加工用果実の出荷も始まります。今年のゆずは着果数が多く、これからの出荷が楽しみです。



【初出荷の青ゆず】

2 地域課題一覧に関する普及活動

1) 早期水稻採種ほ場審査を実施【西都市】

2、3、9、10、17日に西都市で生産が行われている主食用米「コシヒカリ」、「夏の笑み」、及び飼料用米「ひなたみのり」のほ場審査を実施しました。

延べ40名程度の種子審査員及び関係機関の協力の下、炎天下の中審査は行われ、40haのうち39.7haが合格となりました。

27日より種子の品質及び発芽率（90%以上が合格）の調査を行っていきます。

今後も生産者が安心して利用できる高品質な種子生産を行っていきます。



【ほ場審査の様子】

2) 尾鈴地区本部いちご青年部勉強会に参加【川南町・都農町】

2日に総合農業試験場でいちご青年部勉強会が開催され、青年部18名が参加しました。

青年部の要望に応じて、普及センターからは「植物生理の基礎」、試験場からは「いちごの育種」について講習を行いました。参加者からは、日射量の確認方法、本ぽでの湿度管理、育苗中の高温対策など、実践的な質問が多く寄せられ、参加者の理解が深まりました。

今後も要望に応じて、青年部の活動を支援していきます。



【勉強会の様子】

3) 尾鈴地区本部いちご部会総会に参加【川南町・都農町】

14日にいちご部会総会が開催されました。令和7年度産は育苗期の高温や病害の発生により出荷量が落ち込み、各市場からは令和8年度作の年内出荷量の確保が要望としてあげられました。

普及センターからは、苗管理についての注意点や農業者研修の案内等を行いました。

生産者からは、JAに対し質疑や要望など活発な意見交換がなされ、有意義な総会になりました。今後もいちご部会を支援していきます。



【総会の様子】

4) 尾鈴地区本部ミニトマト部会総会・生産販売反省検討会に参加【川南町・都農町】

17日にミニトマト部会総会が開催され、令和7年度作の高反収者の表彰や事業・予算等についての協議が行われました。

参加した市場からは、シーズンを通して品質は向上しているものの、厳寒期の着色向上と春先の品質維持が要望されました。また、普及センターからは農業者研修の案内を行い、メーカーから病害防除資材の紹介がありました。今後もミニトマト部会を支援していきます。



【総会の様子】

5) 尾鈴地区本部ハウス胡瓜部会総会に参加【川南町・都農町】

23日にハウス胡瓜部会の総会が開催されました。令和7年度作は例年並みの出荷量となったものの、春先の天候不順等の影響で出荷量が安定しない時期も見られました。

また、表彰式も実施され、総売上部門や単位収量部門、単位収入金額部門等での今作の成績優秀者が表彰を受けました。

参加した市場からは、今作の販売情勢報告や来作の安定的な出荷への要望がありました。

安定したきゅうりの生産に向けて、引き続き支援していきます。



【総会の様子】

6) 令和7年度JAみやざき児湯施設園芸部会総会に参加【高鍋町・新富町・木城町】

10日に児湯地区施設園芸部会の総会が開催され、令和7年度の成績優秀者の表彰や、事業実績の検討・次年度の計画検討が行われました。100名近くの生産者が参加し、活動に対する質疑や要望など活発な意見交換がなされました。

夏秋期の高温や資材高騰・資材の不足など厳しい状況ではありますが、課題解決に向け関係機関一体となって支援をしていきます。



【総会の様子】

Ⅲ 参考

7月の気象(宮崎气象台:西都市)

	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	本年	前年	平年
上旬	26.6	27.9	26.0	15.5	66.5	160.3	30.6	94.3	49.2
中旬	29.3	26.4	27.0	2.0	217.5	82.9	95.9	46.4	61.5
下旬	29.9	27.3	27.5	0.0	82.5	97.3	127.2	81.2	78.4
月	28.6	27.2	26.8	17.5	366.5	340.4	253.7	221.9	187.3

農林水産業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！



宮崎県 農林水産業ナビ

ひなたMAFiN

Miyazaki Agriculture Forestry Fisheries Navigation

農林水産業に関する

- ➡ 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
- ➡ タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信！
- ➡ 皆さまの思いや意見を集約！



メルマガ登録はこちら

ひなたMAFiN

検索